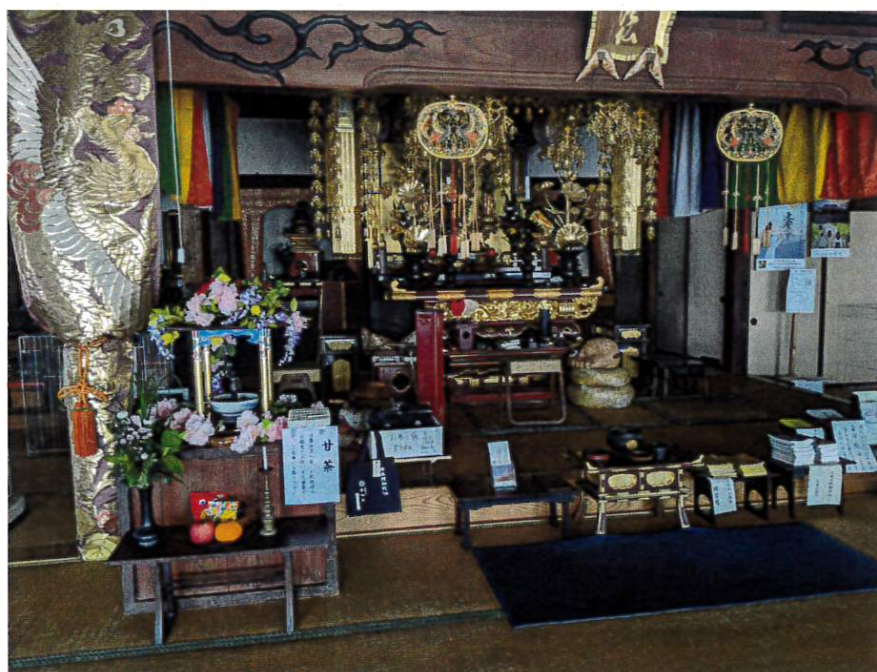


順雲山 光照院 普仙寺

普仙寺だより

発行
浄土宗
順雲山
光照院
普仙寺
第288号
令和2年
6月8日



令和2年5月1日より8日まで
本堂に花御堂を祀り、お釈迦様のお誕生をお祝いしました

普仙寺諸行事 の連絡

- ◎ 毎週土曜日
- ★ 土曜礼拝
感染防止対策をして行います
- ◎ 六月二十二日(月)
- ★ 嘉祿の法難選択集拝読
知恩院参拝・中止します
選択集拝読・オンラインで行います
- ◎ 七月八日(水)
- ★ 月並法要・中止します
- ◎ 七月二十九日(水)
- ★ 盆大施餓鬼・住職と副住職で勤めます
- ◎ 八月後半
- ★ こども奉仕団・中止します

住職の短歌

令和元年に詠んだ短歌の
続き（前回は2年4月号）
を掲載します。

詠唱の普及委員の研修に集
いて皆で課題検討

青年僧の戒師を勤めて

知恩院阿弥陀堂にて式挙げ
る誓いの言葉声は清新

勢至寺の結婚式で華を撒く
親族縁者祝いの儀式

晴天の秋の夕暮れ伊吹山そ
の褐色の姿厳然

いよいよに紅葉の山となり
にけり霊峰伊吹晩秋の朝

養老の律院古刹圓滿寺皆で
唱える和讃数々

晩秋の広島に来て夜歩く橋
の向こうに原爆ドーム

ゆつくりとキャベツを蒸し
て麵を焼く甘辛ソース広島
の味

広島のホテル階上来て見れ
ば平和公園既に錦秋

広島源光院の十夜会に弥
陀本願の詠歌唱える

戒善寺十夜法要法話する本
尊阿弥陀由来を偲ぶ

坂の上長性院の本堂で十夜
和讃を皆で唱える

誕生寺ゆかりの阿弥陀廣教
寺法話終わりにて飴撒きをす
る

錦木の色鮮やかな紅葉をひ
とり見ていた令和元年

冬の朝三門前の道行けば紅
葉続く満天星躑躅

葉の色が薄い茜の夏椿冬の
初めの京都のお寺

梔子のオレンジ色の実が並
ぶ一年かけて待っていたん
だ

岡崎の竜美丘に集まりて新
曲和讃講習をする

岡崎の講習終わり帰り道藤
川宿は稗田の黄色

ひとり立つメタセコイアの
紅葉の姿が好きと我が友は
言う

十二月七日の朝の伊吹山冠
雪模様いよよ肅然

知恩院大鐘楼の周りには黄
色モミジが残っていたね

十二月半ばを過ぎた滋賀平
野霽に包まれ淡粧の様

咲いている淡白色の枇杷の
花神宮道の坂の途中で

赤い実の唐鼠鬚賑やかだ友
禅苑の門のすぐ横

万両の赤く小さな実が光る
友禅苑の小川の辺り

十二月雪香殿の前庭は桜紅
葉の赤の敷き物

嘉祿の法難、
選撰集オンライン
イン拝読案内

嘉祿の法難の発端である
嘉祿三年（一二二七）六月
二十二日、法然上人の靈廟
が襲撃されたことに因み、
法然上人の著書『選撰本願
念仏集』を拝読します。

今回は、知恩院に皆さん
と参拝することは中止しま
す。

選撰集拝読は住職が御廟
拝殿に座り、参加者が各地
よりオンラインで交代して
拝読して頂きます。

記

①日時
六月二十二日（月）
午後一時より

②日程

各地オンラインにて
『選撰本願念仏集』拝読

③参加申込

口頭にて普仙寺へ申し込
み下さい。

④締切

六月二十日までに

⑤オンライン接続

住職とオンライン接続を
して頂きます。

⑥参加費

無料

⑦用意する物

『選撰本願念仏集』を
お貸しします。

花まつり

令和二年五月一日より八
日まで本堂前にお花を飾り
ました。



お釈迦様はお母様の実家
でお産をする予定でしたが
途中の花園でお生まれにな
ったことから、お誕生のお
祝いを「花まつり」と言い
ます。

寺行事案内

☆七月二十九日(水)

本年に限り

住職と副住職で勤めます

ぼんだいせがきえ

盆大施餓鬼会云

☆塔婆波安の種類

◎祠堂塔婆

寺位牌祠堂金が累計二十

万円以上志納されている

場合には利息分として塔

婆料は無料です。

◎初盆塔婆

初盆の人の戒名でご用意

します。有料(三千五百

円)ですが、祠堂塔婆を

兼ねる場合は無料です。

◎申込塔婆

祠堂塔婆・初盆塔婆以外

で申込んで頂く塔婆です

先祖代々または戒名を申

込用紙に記入して下さい

塔婆料は一霊三千五百円

です。

☆申込方法と

塔婆料

別紙申込用紙に必要事項

を記入して、

1、塔婆料を同時に納め

る方は普仙寺庫裡にて

お納め下さい。

2、塔婆料を受取時に納

める方は用紙を本堂内

の申込箱へ入れるか、

または郵送して下さい

☆塔婆波安の受取

塔婆の受取は

七月三十日以後にお願い

します。

☆自宅柵経

◎ 本年度は八月の柵経を

1、例年通り自宅柵経を

希望されるか

2、八月十四日普仙寺本

堂回向を希望されるか

をお申し出願います。

◎別紙申込用紙の空欄のど

ちらかに○を記入して

下さい。

◎自宅柵経を希望の方には

例年通り、日時の葉書を

お送りします。

◎八月十四日普仙寺本堂回

向は住職と副住職で勤め

ます。

☆毎週土曜日

朝八時三十分～九時

どようらいはい

◎土曜札拝

新型コロナウイルス感染

拡大防止の対策として

1、マスクの着用

2、手指の消毒

※本堂入り口に設置し

てあります

3、1メートル以上の間

隔を空ける

4、焼香はひとりずつ

をお願いします。

「普仙寺だより」二八八号

発行日 令和二年六月八日

発行所 普仙寺

発行者 加藤良光

〒四四一―八〇九三

豊橋市牟呂中村町六一五

電話

〇五三二―三一―七四五七

令和二年 盆大施餓鬼会 塔婆申込用紙

(本堂内の申込箱へ入れるか、または郵送)

本年度は七月二十九日に住職と副住職とでお勤めします。
 塔婆の受け取りは七月三十日以後にお願いします。
 塔婆料は申し込みの時・受け取りの時どちらでも結構です。

3	2	1	先祖代々または戒名(申込塔婆料一霊三千五百円)
初盆	申込	祠堂	

住所 (町内名でも可)

令和二年 棚経 申込用紙

本年度は八月の棚経を

- ①、例年通り自宅棚経を希望されるか、
 - ②、八月十四日普仙寺本堂回向を希望されるか
- お申し出願います。

自宅棚経を希望の方には日時 of 葉書をお送りします。
 八月十四日普仙寺本堂回向は住職と副住職で勤めます。

自宅棚経		棚経について希望する方に○を付けて下さい
例年通り 自宅棚経 回向を希望	八月十四日 普仙寺本堂 回向を希望	

施主氏名